

岡山大学病院研修にあたっての感染対策対応について (別紙 ②)

当院の研修登録医として院内に立ち入る者は、以下の①～④について対応のうえ、所属施設長による証明書(後日希望者に申請書等とともにお渡しします)を提出していただきます。(ご自身が施設長の場合はご自身のお名前で)

なお、感染対策について、以下の要件を満たさない場合は、「受入れ不許可」もしくは「一部区域への立ち入りを制限」または「受入れ許可を取り消す」ことがあります。

①小児ウイルス疾患(麻疹、水痘、風疹、流行性耳下腺炎)について

麻疹、水痘、風疹、流行性耳下腺炎について、下記の要件を満たすこと。

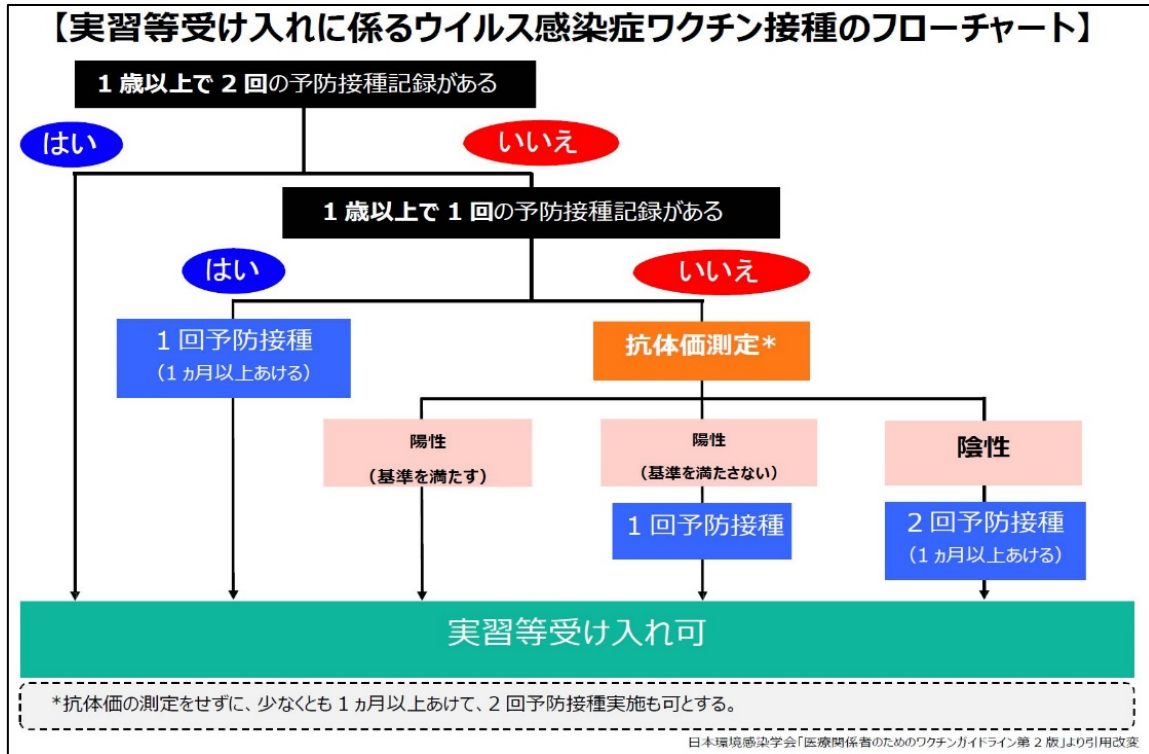


表. ウイルス4疾患の検査方法と判断基準の目安

疾患名	検査方法	抗体価陰性	抗体価陽性 (基準を満たさない)	抗体価陽性 (基準を満たす)
麻疹	EIA法(IgG)推奨	陰性	±~16.0	16.0以上
	PA法	<1:16	1:16, 32, 64, 128	1:256以上
	NT法	<1:4	1:4	1:8以上
風疹	HI法	<1:8	1:8, 16	1:32以上
	EIA法(IgG)推奨	陰性	±~8.0	8.0以上
水痘	EIA法(IgG)推奨	<2:0	2.0~4.0	4.0以上
	IAHA法	<1:2	1:2	1:4以上
	NT法	<1:2	1:2	1:4以上
流行性 耳下腺炎	EIA法(IgG)推奨	陰性	±	陽性

【参考】

医療関係者のためのワクチンガイドライン第2版、日本環境感染学会、2014

(注意) 検査方法は、上記の検査方法に限るものとします。
検査受診の際は御注意ください。

*罹患歴があり予防接種を受けていない場合は抗体価測定を行ってください。

*予防接種記録には接種年・月の記載が必要です。

②結核について

所属機関の胸部 X 線検査を含む健康診断を受診し、所見に異常がみられた場合は直ちに報告してください。研修開始3か月以内(本研修に限り)の胸部 X 線検査の所見が必要です。また、合わせて IGRA(クオンティフェロンまたは T-SPOT テスト)検査のいずれかを実施してください。

③B 型肝炎について

抗体が陽性でない者については、1 シリーズ(3 回)ワクチンを接種してください。

④インフルエンザについて

当該年度に対応したワクチンの接種が可能となった時点で接種してください。

なお、上記①～④について、ワクチン不反応者およびワクチンに対するアレルギーなどの医学的な理由によりワクチン接種、胸部 X 線撮影などができない者については、医師の診断書を提出することにより、研修などの受け入れを許可することがあります。また、ワクチン接種から抗体ができるまでには、一定の期間が必要ですので、医療機関等の指示に従い対応ください。